

理事会便り

第11回理事会 (4月27日 本部会議室)

議決事項

- 2012年度収支予算**
2012年度の生協全体の収支予算を確認し、微調整は5月理事会で行うとしました。
- 2012年度組織計画**
2012年度の組合員と出資金の事業所別計画を決めました。
- 2012年度広報・かがやいて発行方針**
2012年度広報基本方針とかがやいての発行方針を決めました。かがやいては年6回、4・5・7・9・11・1月の10日に発行します。
- 2012年度組織運営方針、年間日程**
機関運営、及び事業と組織の会議運営の基本のすすめ方、また職員研修の基本のすすめ方について決めました。それに基づき年間の日程を確認しました。
- 役員報酬規則の改定**
副理事長の報酬決定基準の「役職指数」に間違いがありましたので、改定することを決めました。
- 次期役員報酬について**
次年度の役員報酬について、2011年度と同額とすること、理事は2011年度までの「理事会出席手当」から定額の「理事報酬」とすることを決めました。
- 総代会における書面議決書の取り扱いについて**
書面議決書の提出期限、賛否の表明がない場合の扱いなどについて決めました。
- 連合会・県連の代議員の選任、連合会理事の推薦について**
連合会総会の代議員に稲葉専務と矢吹事務局長、県連総会の代議員に稲葉専務を選任し、連合会理事に稲葉専務を推薦することを決めました。

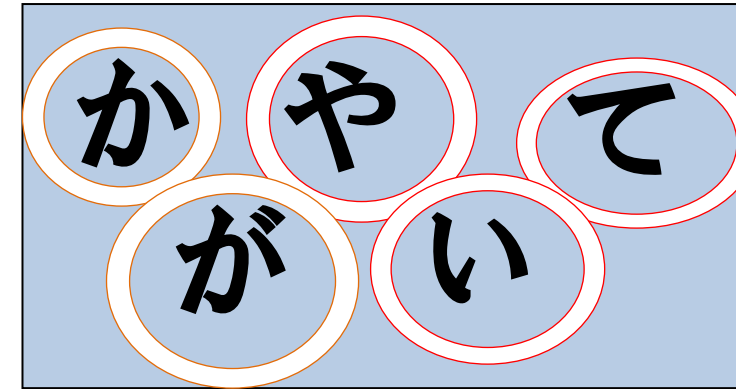
報告事項 (主な報告より抜粋)

- たむらデいのパワーリハビリ機器の機種変更導入について**
従来の機器からコンパクトサイズにすること、平行棒を新たに導入すること等の報告がありました。
- 総代選挙の結果について**
全ての選挙区において、定数内の立候補により、全員当選となったことが報告されました。

2012年は国際協同組合年です



協同組合がよりよい社会を築きます



神奈川県高齢者生協機関紙 2012年5月号 NO.142
発行責任者 桑原 龍太
〒231-0047
横浜市中区羽衣町2-7-10 関内駅前マークビル5階
Tel045-663-8825 Fax045-662-9662
kanagawa-coop@kanagawa.koureikyou.or.jp
<http://kanagawa.koureikyou.or.jp>

第7回通常総代会のご案内

開催日時 6月16日(土) 13時30分～16時30分 (時間は予定)

会場 神奈川中小企業センター(神奈川産業振興センター)14階多目的ホール
JR 関内駅北口徒歩5分、地下鉄関内駅7番出口より徒歩2分

公告 総代選挙の結果

神奈川県高齢者生協理事会

総代選挙の結果、下記の方が総代として当選されたことが、総代選挙管理委員会より報告されました。

選挙区	定数	総代名簿
川崎北	15	宇都洋子、小笠原すみ子、岡野タケノ、櫻井淑子、佐渡サチ子、高橋善作、高岡民子、高山末子、涛川裕子、橋本茂利、花形宏、古山大三郎、松元すゞ子、圓山孝雄、山田寿子
川崎南	7	長内啓子、樺沢慎一、坂口典子、神美代子、広井圭子、廣瀬紀代子、山下てる代
横浜	4	小松良子、武山登美子、水木悦子、宮川裕吉
相模原	15	石川睦子、榎本ふさ子、小林茂、榎原辰造、佐々木正義、清水紳一郎、鈴木みち子、田口敦子、土田盛夫、乗松美子、古野美由紀、藤田肇、山口朋子、山口初枝、山田千恵子
藤沢	13	大山靖弘、小林七郎、河端猛、河野のぶ子、小室英昭、佐保安秀、高原作治、鳥井澄子、長尾徳美、中村みさ子、伏見一男、松岡和美、山下誠治
三浦半島	6	浅山忍、安部昭太郎、田代みどり、田村信夫、人見佳子、本告レツ
平塚	18	飯野マキ子、五十嵐文、五十嵐条子、伊野正江、加藤節子、間鍋ゆかり、久保昌子、古関とし子、児玉富子、近藤公子、櫻井絵梨、西山直子、三浦律子、村山邦子、横溝由美子、吉川美弥子、吉川ゆみ子、綿貫研志
伊勢原	24	石井貴史、伊波洋子、岩田由美子、上野絢子、内井嘉巳、小田登志子、加藤廣子、川口登喜江、古菅康子、小瀬村和男、小林雄一、齋藤知子、佐々木久代、西條裕子、瀬能恵津子、田島美智子、勅使川原京司、鳥海悦子、野澤益美、福田和江、本間意三子、水島公子、室井康典、渡辺 治

総代会の議案を事前に検討する場として 総代懇談会・組合員のつどいを開催します

地区	開催日時	会場
川崎北	5月23日(水)14時～	川崎北部訪問介護ステーションはなみずき 川崎市麻生区上麻生 5-35-7
川崎南	5月29日(火)19時～	デイみのり 川崎市幸区鹿島田 1065
横浜	5月10日(木)10:30～	神奈川県高齢者生協本部会議室 横浜市中区羽衣町 2-7-10 関内駅前マークビル 5階
相模原	5月18日(金)10時～	相模原市けやき会館 相模原市中央区富士見 6-6-23
藤沢	5月11日(金)15:30～	長後あかり 藤沢市高倉 650-56
三浦半島	5月10日(木)18時～	大津ケアステーション元気 横須賀市大津町 2-14-10
平塚	5月25日(金)18時～	ケアステーションたむら通所介護事業所 平塚市四ノ宮 7-12-27
伊勢原	5月10日(木)18時～	ケアステーションいたど通所介護事業所 伊勢原市板戸 477-21

開催時間は90～120分程度を予定しています。

総代はもちろん、組合員の皆さんもご参加下さい。

みんなで取り組む方針を、皆で決めるために、事前に総代会に提案する議案内容を検討する場です。

総代って何だっけ・・・

組合員の代表として、生協の運営・方針の決定にかかわる重要な議決を行うなど、大切な役割を担っています。組合員の声が、代表である総代を通じて生協の運営に生かされます。

総代会は・・・

毎年6月に開催されます。年度のまとめと決算、次年度の事業計画と予算等を決める生協の最高議決機関です。



事業所だより・・・

大津ケアステーション元気

横須賀市大津町 2-14-10

電話 046-838-5705 Fax 046-833-5950

花見に行ってきました



饅頭の一時 旨き
花見かな
花のトンネルぬけてれば
またまた桜
また桜
どこまで続くか
この道は
本告レク

ケアステーションいたど通所介護事業所

伊勢原市板戸 4 7 7 - 2 1

電話 0463-95-6878

Fax 0463-95-7610

どう生きる100歳時代・おたっしや講座に参加して
ケアステーションいたど通所介護 スタッフ 伊波 洋子

1回目、骨密度を測定し、カルシウムを多く含む食品や摂取の方法など勉強しました。

2回目、ヨガを体験しました。普段の呼吸とは違い、思い切り肺を広げる呼吸法は、頭も身体も活性化を感じがします。自律神経のバランスも良くなると言われました。緊張のポーズと弛緩のポーズを交互に取り入れ、脊髄を縦や横に伸ばし、とても気持ち良かったです。

3回目、ダイヤビック体操を体験しました。曲に合わせてリズムカルに身体を動かします。左右の手の動きが違ったり、ステップがレベルアップしたり脳トレも兼ねた楽しい体操でした。両方とも最初にストレッチを入念にします。高齢になって足、腰が衰えないように姿勢を正したり、足全体をマッサージしました。ヨガは静、ダイヤビックは動の動きですが、共通する考えが沢山あり、身も心リフレッシュして楽しかったです。



(総代会議案書続き)

2012年度私たちが取り組むこと

1. 組合員と地域のニーズに基づいて、組合員の暮らしに役立つ事業をすすめます
 - (1) 組合員の要望と地域のニーズに基づいて、高齢者生協として特徴のある通所事業所づくりをすすめます。
 - (2) ケアステーションいたど通所事業所での「緊急泊り」の利用を広げ、家族のニーズに応えると同時に、地域の信頼・安心を高めます。
 - (3) 配食・見守り事業を伊勢原市全域や近隣の地域に利用を広げます。
 - (4) 組合員の暮らしを支えるために、組合員どうしの助け合い活動としての「孫の手」事業と有償福祉移送事業を実施する事業所を拡大します。またこの事業のシステムを統一します。
 - (5) 「24時間訪問サービス」への参入への挑戦、及び訪問看護の組み合わせの検討を行い、2013年度からの開始に向けた検討を開始します。
 - (6) 大津ケアステーション元気に、訪問介護事業や「孫の手」事業と有償福祉移送事業を開始する取り組みをすすめる、事業所移転の準備をすすめます。
 - (7) 藤沢事業所の移転と新規事業の開設の準備をすすめます。
 - (8) 居住系サービスへの挑戦として、サービス付高齢者住宅やグループホームなどへの事業所開設の検討をすすめます。
 - (9) 本部事務所を拠点として、横浜での有償福祉移送など福祉事業所づくりをすすめます。
 - (10) 働く仲間を増やすために、藤沢市などでヘルパー養成講座事業を再開します。
 - (11) 組合員の暮らしを支える福祉用具の貸与・販売事業を開始するための準備をすすめます。
2. 元気な高齢者が気軽に参加出来る組合員活動と組合員組織を再構築します
 - (1) 全事業所の組合員比率5割以上を目指します。
 - (2) 「新しい組合員組織と活動」の組合員組織政策を確立します。
 - (3) 当面の組合員組織として、従来の支部単位で、理事を組合員活動のリーダーとして、自主的で多彩な活動を本部・事業所を拠点としてすすめます。
 - (4) 高齢者の生きがいづくりとして、「おたっしや講座」をすすめます。
 - (5) 組合員活動を推進する組合員活動財政制度を確立します。
 - (6) 組合員と出資金によって支える生協づくりをすすめる、中期的に5,000人の組合員、1億の出資金の到達をめざします。
3. 10年後のビジョンと中期計画づくりをすすめる、超高齢時代に貢献できる生協を目指します
4. 新たなキャリアパスと教育制度を確立し、生協を支える職員を育成します



ケアステーションの訪問介護 望月まゆみ

ケアステーションのお世話になり、3年が経ちました。

初めはデイだけでしたが、訪問介護をお手伝いさせて頂く様になって2年になります。

この4月に介護福祉士資格をとり、晴れて訪問介護の常勤になりました。

最初は一人で訪問するのが不安でいっぱいでしたが、ヘルパー仲間の先輩の指導とご利用者様の笑顔に温かく見守られ、続けてこれました。

ご利用者様の『ありがとう』『おいしかったよ』『待ってたよ』の声に励まされ、さらに喜んでいただけるように日々頑張っています。



新しい常勤職員で～す

さがみはらケアステーション あやとり 武内 洋子

自分の父親の介護をしようとして仕事を辞め、準備を始めた矢先、父は癌で亡くなってしまいました。しばらく何も手につかなかった私に、先に介護の仕事を始めたい長男が「ヘルパーの資格でも取ってみたい」と背中を押してくれ、今に至っています。

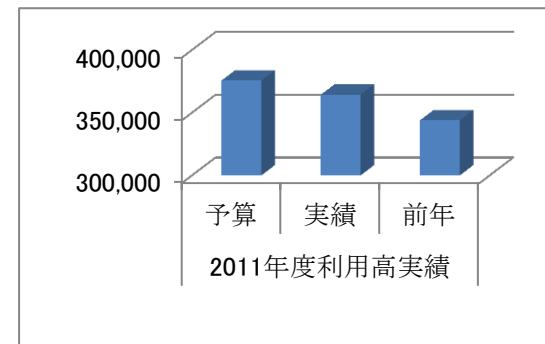
ご縁があつてあやとりの常勤ヘルパーとしてお世話になる事になりました。

まだまだ未熟な私ですが、日々学びだと思ひ活動させていただけますので、どうぞよろしくお願い致します。

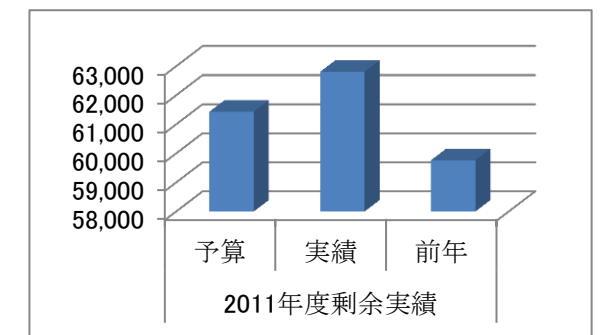


神奈川高齢者生協の2012年度経営報告

3月末の組合員数 1,917名 出資金額 2,952万円



実績	364,415千円
予算比	97.0%
前年比	105.9%



実績	63,111千円
予算比	102.2%
前年比	105.6%

第7回通常総代会議案要旨

議題

- 第1号議案 2011年度事業報告・決算関係書類承認の件
- 第2号議案 2012年度事業計画・及び予算決定の件
- 第3号議案 日本生活協同組合連合会加盟決定の件
- 第4号議案 総代選挙規約改定の件
- 第5号議案 役員選挙規約改定の件
- 第6号議案 役員（理事20名、監事3名）選任の件
- 第7号議案 役員報酬決定の件
- 第8号議案 役員退任慰労金支給の件
- 第9号議案 議案決議効力発生の件



第1号議案 2011年度事業報告

1. 全体のまとめ

- (1) 2011年度は、2025年団塊の世代が後期高齢期に突入し、日本の人口構造が激変することを見据え、長期計画の策定を目指しながら、合わせて長期的な視野にたった事業と組織活動をすすめてきました。
- (2) 組合員組織は、組合員2000名、出資金3000万円の到達を目指しましたが、1917名、2952万円の到達となりました。主に福祉移送の利用者が組合員に加入して頂き、また出資金は職員の定期増資等によって増やすことが出来ました。
- (3) 「どう生きる100歳時代・おたっしや講座」を各地区で開催し、延べ167名の参加となりました。職員スタッフの参加が主となり、組合員の参加を広げることが課題となっています。
- (4) 元気な高齢者自身の組合員活動や、組合員どうしが仲間を増やす取り組みを創りだすことが弱くなっています。組合員組織と活動の再構築が課題となっています。
- (5) 生協全体の利用高は、37,741万円となり、予算比98%、前年比105.5%となりました。
 - ① あやとり、たむら、いたどの3訪問介護事業所で大きく予算を超えることが出来ましたが、3通所事業所の予算達成率は80%台となりました。
 - ② サービス別には、配食、福祉移送、居宅介護支援、訪問介護予防サービスにおいて110%以上の伸びとなりました。訪問介護事業所において、福祉移送サービスとの相乗効果を上げることが出来ました。
 - ③ 川崎の訪問2事業所と、たむら通所事業所が前年を下回る結果となりました。訪問事業所はヘルパー不足を解消出来なかったこと、通所は激しい競争の中で、利用者を選んで頂ける通所事業所づくりが課題となっています。
 - ④ 「みのり」と「元気」が赤字を解消し、福祉移送の川崎支部を2012年1月よりはなみずきに統合することにより、全ての事業所が黒字となり、経常剰余予算を大きく超えることが出来ました。

(6) ホームページのリニューアル、基幹システムの整備、職員の就労環境整備など事業基盤の整備を大きく前進させましたが、長期計画づくりは次年度の課題としました。

第2号議案 2012年度事業計画

私たちがめぐる動き

1. 東日本大震災と原発事故から1年が経過し、復興への道のは長くなりそうです。被災地へ長期に渡る継続した支援を続けていきましょう。
2. 東日本大震災により、首都圏直下型地震の発生率も高まったとされ、従来以上の備えが必要となっています。
3. 高齢者の暮らしは、今年も厳しいものになりそうです。介護保険料や後期高齢者保険料が、ほとんどの自治体で引き上げられました。今後は消費税の引き上げが気になるところです。
4. 国民の暮らしの厳しさの反映として、生活保護の受給者が2012年1月に過去最高を更新し209万人と報道されました。自殺者数も14年連続で3万人を超えたと報道されています。
5. 神奈川県の75歳以上で要支援・介護認定者は、2014年に28万人と推定されており、2012年度は2011年度対比5.5%増の25.4万人と想定されます。毎年単純計算で5.5%の要支援・介護者が増加しています。認知症の高齢者や一人住まいの高齢者も合わせて増加します。
6. 立川と横浜で「孤立死」が報道されました。介護者と要介護者の二人暮らしで介護者の突然の死により、要介護者が生活の支えを失い衰弱するという何とも痛ましい最後です。普通となっている介護者と要介護者の二人暮らしに、私たちが出来ることを考え、行動していきましょう。
7. 私たちは、組合員とともに、利用者のために、生協の組合員活動と介護事業の特徴、良さ、強みを創出し、全面に出していくことが必要です。着実に力をつけ前進させましょう。
8. 2012年は国際協同組合年の年です。協同組合が話題となるこの年に、改めて生活協同組合について学び、確信を持って、着実に前進する年としましょう。

組合員の暮らしを守る事業の中期的基本方向

1. 訪問介護と通所介護を主力事業に据えます
 - (1) 現事業所をしっかりと地域に根付かせつつ、事業所のない地域への事業拡大をすすめます。
 - (2) 24時間定期巡回・随時対応サービス事業への挑戦を検討します。
2. 生活支援サービスの拡充を図ります
 - (1) 孫の手事業、福祉移送事業を全県に拡大する仕組みを確立させ、順次拡大します。
 - (2) 配食・見守り事業の拡充を図ります。
 - (3) 福祉用具の貸与・販売事業の開始に向けた準備をすすめます。
 - (4) 成年後見、相続、葬儀など、高齢者の暮らしの相談機能の検討をすすめます。
3. 居住系サービスへ挑戦します
 - (1) 通所での緊急泊り制度を確立させ、順次拡大します。
 - (2) サービス付高齢者住宅など、高齢者の「住まい」サービス事業の開始を目指します。

